

図1 平城京条坊と薬師寺の位置

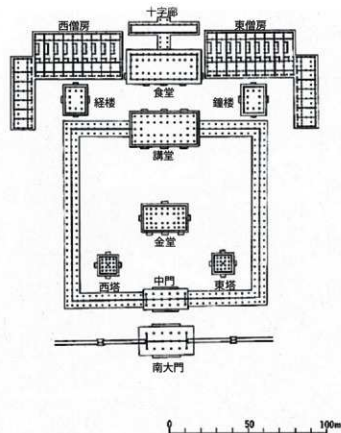


図2 薬師寺伽藍配置図

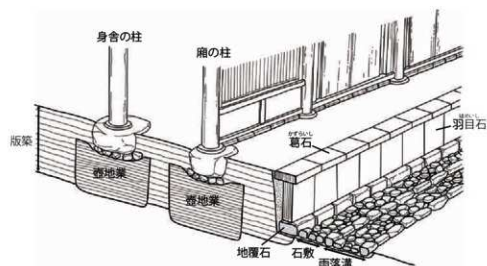


図4 基礎および基礎周辺の模式図

一、食堂一宇。九間四面。東屋長さ十四丈、広き五丈四尺五寸。柱の高さ二丈五寸。前の戸は九間、後の戸は三間。左右の脇門は各一面。正中は一間。内殿に金銅半丈六の阿弥陀仏像並に観音・得大勢菩薩各一軀を安置せり。旧流記に云ふ、已上の三尊は、難波那我良豊前宮御宇天皇御遷去皇。造り奉りて、此の寺に請け坐す云々と。
と。所謂仏像三軀・鴻鐘・百済湯銘一口なり云々。
右の堂は、天祿四年二月廿七日に焼亡したる。其の後、別当増祐、長保元年より七ヶ年の間に造り畢んぬ。仏像は同じく以て焼亡せり。但し、脇土の棟、腰上は焼遺るなり。増祐大法師造り終ぎ、並に阿弥陀仏像は本の如く造立已に了んぬ。

史料1 『薬師寺縁起』食堂部分

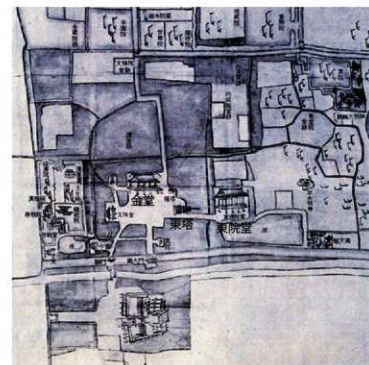


図3 伽藍寺中并阿弥陀山之図(部分) 江戸時代初期(一部加筆)

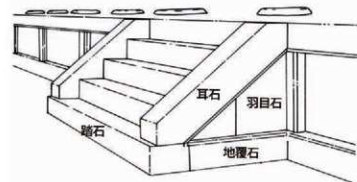


図5 階段の模式図

表1 南都の寺院における食堂の規模

| 寺院 | 柱間(桁行×梁行) | 寸法(桁行×梁行) | 根拠 |
|-----|-----------|------------|---------------------|
| 薬師寺 | 11間×4間 | 137.5尺×54尺 | 発掘調査 |
| 法隆寺 | | 102尺×57尺 | 『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』 |
| 興福寺 | 9間×5間 | 120尺×58尺 | 発掘調査 |
| 大安寺 | | 145尺×86尺 | 『大安寺伽藍縁起并流記資財帳』 |
| 東大寺 | 11間×6間 | 196尺×98尺 | 『講堂院図』 |
| 元興寺 | 11間×4間 | | 『堂舎損色校録帳』 |
| 西大寺 | 7間×4間 | 110尺×60尺 | 発掘調査(部分)、『西大寺資材流記帳』 |
| 西隆寺 | 7間×4間 | 70尺×40尺 | 発掘調査(部分) |